



※本リリースは株式会社協和エクシオと株式会社 WHERE が共同で配信します。重複して配信されることがありますが、ご了承願います。

2016年6月9日(木)

**協和エクシオとWHERE、東京都立川市と共同で  
『メッシュ型ビーコン』を活用した「ファーレ立川アート」の  
ガイドアプリ制作と実証実験を開始**  
～屋外でのメッシュ型ビーコン実用化に向けた日本初の実証実験～

株式会社協和エクシオ  
株式会社 WHERE

株式会社協和エクシオ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小園文典）と、当社の子会社で当社グループが推進する『G 空間ビジネス<sup>※1</sup>』事業における中核会社の株式会社 WHERE（本社：東京都千代田区、代表取締役：丸田 一）は、このたび、東京都立川市にある世界的パブリックアート群「ファーレ立川アート」を観光資源として活用するため、beacon（ビーコン）<sup>※2</sup>を活用したガイドアプリの制作とメッシュ型ビーコンの開発・実証実験について連携・協力する協定を、立川市（市長：清水庄平）と6月1日付で締結しました。

「ファーレ立川アート」は、多摩モノレール立川北駅近く、5.9ヘクタールのオフィス街に設置された、36カ国92人のアーティストによるパブリックアートです。車路壁、歩道の舗石、排気口や点検口、サイン、照明、車止めといった都市の機能をアート化した作品109点が設置されています。直接アートを感じ、探して楽しむことができるように、作品にはキャプション（説明板）を付けていないのも特徴です。

今回、立川市と協和エクシオ、WHEREが共同で取り組むのは、説明板のない「ファーレ立川アート」の作品を解説するアプリの開発と、これまで個別管理の必要のあったビーコンに、相互通信機能を付加すること（メッシュ型ビーコン<sup>※3</sup>）による、遠隔操作と一元管理の実用性を検証する実証実験で、屋外でのメッシュ型ビーコンの実用化に向けた実証実験は日本初となります。

開発するガイドアプリと実証実験の概要、3者の主な役割分担は以下の通りです。

### **○ガイドアプリの概要**

「ファーレ立川アート」を、画像、音声、動画で作品解説（美術館や博物館の作品ガイドの野外版のイメージ）するもので、作品周辺にビーコンを設置し、測位情報と解説情報を取得するとともに、外国人向けに多言語（英語、中国語（繁体・簡体）、韓国語）対応、またオフラインにも対応します。

### **○実証実験の概要**

これまで個別管理の必要のあったビーコンに、相互通信機能を付加すること（メッシュ型ビーコン）による、遠隔操作と一元管理の実用性を検証します。

\*実施期間は2016年8月15日（月）～ 2016年10月31日（月）を予定

### ■3者の主な役割分担

- 立川市 : 実証実験フィールドの提供  
協和エクシオ : メッシュ型ビーコンの設置設計・設置工事・電波試験  
WHERE : ビーコンを用いたガイドアプリの制作、メッシュ型ビーコンおよび管理システムの開発

協和エクシオでは、情報通信インフラの構築をはじめとするエンジニアリングソリューション事業に加え、通信キャリアインフラ工事で培ってきた電波空間設計・施工技術を融合させた『G空間ビジネス』の事業を、WHEREを中核会社にグループ全体で推進しておりますが、今回の実証実験を事業の本格化に向けた“beacon技術の基盤確立の第一歩”と位置付け、取り組んでまいります。

- ※1 G空間ビジネス…屋内外の空間測位と地図情報を組み合わせて創出されるビジネス
- ※2 beacon(ビーコン)…小電力の識別信号発信機
- ※3 メッシュ型ビーコン…ビーコン端末に送受信機能を持たせて、遠隔地にビーコンの状態やセンサー情報を転送することを可能とするビーコン

#### ●本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 協和エクシオ 総務部 CSR・広報室 担当：望月 政広  
〒150 - 0002 東京都渋谷区渋谷 3 - 29 - 20  
電話：03 - 5778 - 1075 (直) FAX：03 - 5778 - 1228

#### ●本資料に関する製品・サービスのお問い合わせ先

株式会社 WHERE 管理部 担当：青木 貴弘  
〒102 - 0093 東京都千代田区紀尾井町 3 番地 29 号 紀尾井町アークビル 4 階  
電話：03-6261 - 5722 FAX：03 - 6261 - 5725